

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

令和2年度第1回理事会 議事録

令和2年3月28日(土) 10:30~12:30

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 パレスサイドビル 2F-X

【出席した理事】大川 淳、川上 守、西良浩一、島田洋一、高相晶士、種市 洋、千葉一裕、永島英樹、中村博亮、中村雅也、長谷川和宏、前田 健、松山幸弘、山下敏彦、山田 宏、渡辺雅彦

【出席した監事】加藤文彦、小西宏昭

【議事の経過の要領及びその結果】 中村博亮理事長は定款の定めにより議長となり、開会を宣言し、直ちに議事に入った。

会議はweb会議で行われ、会場には大川淳、加藤文彦、事務局が参集した。

審議・決議事項

1. メンバーシップ・コンプライアンス委員会より：会員審査(1-2月分)

島田理事が、1~2月の入退会について決議を求め、承認された。

2. 財務委員会より：令和2年度予算案の件

千葉理事が令和2年度の予算案について説明したが、第49回学術集会延期のために予備費3000万円の計上が提案され、承認された。千葉理事が予算案を修正することになった。

3. 名誉会員の推薦

名誉会員として富士武史先生、佐藤栄修先生の推薦があり、一同検討の結果異議なく承認した。

4. 評議員会・会員総会の式次第・庶務報告

大川理事が、評議員会の庶務報告について提示し、庶務報告資料として承認された。

5. 社会保険等システム検討委員会より：ヘルニコアに関する認定証交付の件

大川理事が、診療報酬改定にともなって椎間板内酵素注入療法の施設基準が変わったことを報告し、松山理事も補足説明を行った。実施施設要件に問題があるため、厚労省へ緊急要望を行うとともに、実施可能施設であることの認定証発行を早急に学会から行うこととした。

6. 放射線アンケートの件

松山副理事長が、整形外科における放射線被ばくのアンケートがweb方式となり、協力者の大野先生の研究費で賄えるためJSSRの費用負担はなくなったと説明し、一同検討の結果承認した。準備が整い次第、webアンケートを実施する。

7. JSR編集委員会より：優秀論文賞賞金の税金の件(長谷川和宏 理事)

長谷川理事が、JSR優秀論文賞の副賞を「手取りで10万円」とすることを提案し、承認された。

8. 第 49 回学術集会開催の件（評議員会開催、役員交代等含め）

松山副理事長が、第 49 回学術集会の延期について提案し、承認された。

9 月 6 日（日） 理事会

9 月 7 日（月）～9 月 9 日（水）に学術集会

9 月 9 日（水）午後に研修コースおよび脊椎脊髄外科専門医試験

の予定で延期後の学会を開催することになった。

またそれに伴い、事前参加登録は 7 月末まで延長、研修コースについては web での e ラーニング形式での実施、企業展示もバーチャルで設置することも検討中とされた。

・評議員会は、宗像顧問弁護士からのアドバイスに基づいて、各評議員から委任状を提出してもらい、予定通り 4 月 15 日に開催することになった。

・今年度の指導医更新者については、全員一律に 1 年間猶予とすることが承認された。

・ただし新規申請者については専門医試験やヘルニコアの使用に係ることや、例年 100 名以内程度の申請なので、通常通り受け付けることになった。

9. その他

・クリニカルフェロー施設申請 和歌山県立医大追加の件

西良理事が、遅れて申請があった和歌山県立医大の追加承認を求め、一同検討の結果承認した。

・JSSR 脊髄モニタリング認定医資格について

松山副理事長が、JSSR 脊髄モニタリング認定医の基準や規程について、日本臨床神経生理学との比較とともに説明し、一同検討の結果承認した。現状 3 コースある学術集会最終日の研修コースにモニタリングのコースを追加することとなった。

審議・報告事項

1. 財務委員会より：平成 31・令和元年度決算の件

千葉理事が、昨年度の決算を報告し、加藤、小西両監事が監査の結果、問題なかったことを報告した。

2. 委員会報告資料確認

大川理事が、委員会報告について、修正を 3 月 30 日の午前 10：00 までをお願いしたいと発言した。

3. 賛助会員の件（会費に対し趣意書を求められたための対応事後報告）

大川理事が、賛助会員から会費についての趣意書を、理事長名で作成し発送したと報告した。

4. 国際委員会より：委員会報告

中村雅也理事が、海外の学会が延期や中止になったことについて報告した。

5. データベース委員会より：頸椎人工椎間板レジストリーなど

種市理事が、頸椎人工椎間板レジストリーの登録状況を報告したが、報告件数が 0 の施設があり、再度案内を出すことになった。

6. 新技術評価検証委員会より：委員会報告

渡辺理事が、ヘルニコアの使用可能施設についてホームページにアップしたこと等を報告した。

7. JSR 編集委員会より：JSR オンライン進行状況

長谷川理事が『JSR』の発刊予定や投稿された論文リストを示し、順調に発刊していることを報告した。千葉理事が発刊ごとの案内について提案し、承認された。また、SSRR についても山田理事が検討することになった。

8. その他

・E 理事会報告

前回理事会以降に E メール上の理事会で審議された議事や結果について、一同確認した。

・専門医制度について

大川理事が、すでに専門医機構（以下、機構）に認められたサブスペシャリティ 領域について、近日機構から再度アンケートをお願いする予定であると報告した。

・用語集について

高相理事が、用語集が完成し、『JSR』3月号（抄録集）と同封して発送予定であると報告した。

以上

令和2年3月28日

一般社団法人日本脊椎脊髄病学会

議長 理事長 中村博亮

監事 加藤文彦

監事 小西宏昭